



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2024 年 9 月 (2024 年度) 通巻 416 号

今月のテーマ ユース



会 長	澁谷弘祐	クラブ会長主題 「親睦を通して、互いを知ろう」
副会長	岡部八千代	国際会長 A・シヤナヴァスカーン (インド) 「より良い世界のために、共に」
	小林勉	アジア太平洋会長 ジョウン・ウォン (香港) 「大きなインパクトを起こそう」
書 記	大澤和子	東日本区理事 山田公平 (宇都宮) 「ワイズの方向性を見極める」
会 計	金本伸二郎	関東東部部長 山本剛史郎 (川越) 「我々は微力かもしれないが、無力ではな

今月の聖句

「見よ、何という幸せ 何という楽しさだろう。」

兄弟たちが一つになって ともにいきることとは。」

(新改訳 2017) 詩編 133 編 1 節

9 月 例会プログラム

日時: 令和 6 年 9 月 14 日 (土)

18:00~20:00

会場 YMCA

司会 小林 勉

澁谷弘祐

- 1 開会点鐘
- 2 ワイズソング
- 3 ワイズの信条
- 4 聖書・祈り
- 5 卓話「留学体験記」
- 6 YMCA 報告
- 7 ワイズ報告
- 8 誕生・結婚記念
- 9 閉会点鐘

金本伸二郎

岡部八千代

太田 聡

澁谷弘祐

澁谷弘祐

8 月納涼例会

所沢クラブ会員 10 名 ゲスト 2 名

コメント 1 名

ワイズメンズクラブと私

太田 聡

先月のブリテンで、岡部さんが「ワイズメンズクラブと私」というタイトルで寄稿されておりましたので、私も同じタイトルで考えてみました。

YMCA のメンバー経験も、リーダー経験もなく、就職活動中に学生課でたまたま見かけた埼玉 YMCA の黄色いパンフレットに興味を持ち、就職説明会に参加したお話は 7 月号で触れました。2002 年入職からしばらくは、ワイズは「YMCA を応援してくださっている優しい方々」で、お芋やお茶を販売されたり、イベントでお手伝いをしてくださったりくらいの認識でした。

2009 年にステップⅡという全国 Y の主事養成研修 (3 か月) の機会を頂くのですが、ワイズの学びが 2 コマあり、そこでワイズは、国際的な団体であり、歴史が長いことも知りました。研修終了後に、当時の総主事からステップⅡ研修参加費の半額を東日本区ワイズの基金から出して頂いたことを伺いました。自分が今こうして責任ある仕事を任せられているのも、ワイズのお支えがあつてのことと深く感謝しております。

個人的には、ワイズの皆さんのお仕事や今までのご経験を聞かせていただくのも大変勉強になります。先月の納涼例会での懇親会もとても楽しい時間でした。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

8月例会報告

澁谷 弘祐

★8月10日には納涼例会をふらっとJOYにて行いました。二人のゲストとコメントと、13人の持ち寄りパーティーでした。



★15日前期区費及び部費の納入が完了しました。ご協力ありがとうございました。

★10月の例会卓話者は、太田聡さんです。ゲー

ム依存症の子ども達の回復キャンプの取り組みについてお話いただけます。ゲーム三昧のお子さんに困っている保護者の皆さんをお誘いしてふるってご参加してください。

YMCA 報告（本部事務局長）

太田 聡

この夏は、学童や保育などの通常のプログラムに加え、短期講習会(600名)、国内キャンプ(110名)、海外キャンプ(14名)と大変多くの子どもたちが参加し、大きなケガや事故なく終了できたことに喜びをもって報告させていただきます。

「子どもは夏に育つ」と言われたりしますが、「水泳のワッペンがあがった!」「キャンプでカブトムシを見つけた!」「みんなで火をおこして、カレーを作った!」「親元を離れてアメ



リカに行った!」など、YMCAには、子どもたちの沢山のチャレンジと「できた」場面が溢れていました。こういった成長の場面を共にし、その喜びを保護者と一緒に分かち合えることが仕事の醍醐味であったりします。

一方で、チャレンジはしたけれども、「ワッペンがあがらなかった」、「友だちとのケンカで怒りが収まらない」、「悔しくて泣いてばかり」という場面にも遭遇します。誰もがそのような失敗やネガティブな経験をするわけで、むしろそういった経験からこそ学ぶことがたくさんあるのですが、いつまでも怒っていたり、クヨクヨしていたり、気持ちの切り替えが難しい子もいます。リーダーやスタッフは、そのような時こそ腕の見せ所で、子どもの気持ちに寄り添い、優しい言葉や時に冗談を交えて時間をかけて向き合っています。

最近読んだ本で、特別支援教育士SVの川上康則先生が、「子どもの行動変容を支える支援者

の立ち位置」について、「包み込める大人」という表現をされました。具体的には、「①内面の葛藤を理解する②気持ちを言語化する③大人が示す落ち着いた状態に巻き込む④時間をかけて待つ」です。相手を変えようとする外圧はあまり効果がなく、人が変わろうとする意欲は、内面から沸き起こるものであり、そのエネルギーとなるものは「安全基地となり得る他者」の存在に支えられていると言います。

まさに YMCA で大切にしていることが表現されている！と嬉しくなりました。これからも人が育つ場としての YMCA であるために、私たち自身が包み込める大人の姿勢で子どもたちの前に立っていきたいと思いました。



今後の予定

澁谷 弘祐

9月12日(土) 18:00～、於：所沢センター
クラブ例会 (部長訪問)
卓話：岡部八千代メン

9月28(土)14時～ 第12回 You&I コンサート
於：横浜市都筑公会堂 (参加推奨です)
一般 1000円 障害者・児 500円
中高生 500円
申し込み 横浜 YMCA ☎045-433-4321
下記の QR コードからも申し込みできます。



10月1日 ブリテン発行
1面 大澤和子

10月12日(土) 埼玉3クラブ合同例会
卓話は太田聡さん

9月～10月 絵葉書コンクール審査

十勝大会とキュウリの種

宮地 輝子

北海道帯広の第27回東日本区大会に参加して、6月のきれいな青空のもと、果てしなく広がる畑の緑、そんな情景と一緒に十勝の皆様の心籠ったおもてなしに感動し北海道の余韻に浸りながら、帰りの飛行場に着きました。乗る飛行機は6時間も待たなければならず、同じ飛行機に乗る人も多くいて、ロビーで、お茶をしたり、おみやげの買い物したり、おしゃべりしたり、せっかくの北海道なのに、とても退屈な時間を過ごしました。

その時、他クラブのある方が「うちの店で扱ってる物だけど、よかったら育ててみて・・・」と、キュウリの種をくださいました。



『四川きゅうり』と書かれてありました。キュウリなど、育てたことない私でしたがダメで元々とそれをプランターに蒔きました。それが芽を出し、葉が出て、蔓も伸び、とうとうキュウリができたのです。それから何本も収穫し、とても感動でした。ちょっと、私には高級に感じる四川キュウリは、美味しく、この猛暑の夏、わが家の食卓を賑してくれました。

さて、そんな喜びのできごと「キュウリの種も温かなお心もありがとうございました。」と、種をくださった方にお礼を言いたくても、お名前も連絡方法もわからずにあります。

十勝の大会は発表も記念講演もよく、晩餐会の豪華なご馳走に驚き、何より、十勝の皆様のとびきりのお心遣いに酔いしれたところに、キュウリの種のできごとがプラスされ、

参加してよかった『十勝・キュウリの大会』となりました。

所沢クラブ ファンド

ご利用ください

お茶 1000円 クッキー 150円

ご注文は osawakazuko@yahoo.co.jp (大澤)